

## 最強の投資手法「スパンモデル」「スーパーボリンジャー」によるシンプルトレード

ドル円、ユーロドル、ユーロ円、豪ドル円、豪ドルドル、ポンド円に関して、今後 1 週間程度の相場予測として、「日足スーパーボリンジャー」と「週足スーパーボリンジャー」に限定した、簡単な分析・解説を掲載します。

日足や週足のスーパーボリンジャーは、主に、デイトレード・スイングトレードの大局観の把握や、ポジショントレードの売買判断に用います。分析は、全て、先週末 6 月 29 日終値時点での判断です。内容は、私の有料情報サービスからの一部抜粋です。(尚、本レポートでは、スパンモデルに関するレポートは省略している点、ご了承ください)

さらなる詳細分析やその他の通貨ペアの分析・解説(リアルタイム動画解説を含む)は、こちらをお勧めします。「マーフィーの有料メルマガ&掲示板」 <http://www.eagle-fly.com/mur/>

### ■ドル円

#### <<<日足分析>>>

#### ◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン=陽転しており、基調として、買い優勢

○トレンド判断と戦略=目先、+2σラインとセンターラインの間をコアとするレンジ相場と判断。尚、引き続き、遅行スパンとローソク足の「同期性」に注目したい。「同期性」とは、遅行スパンの上げ下げのリズムと、ローソク足の上げ下げのリズムに相関性が見られることを指す。尚、バンド幅が収束傾向となっており、相場変動率が下がっていることが確認できるが、その分、相場変動エネルギーを溜めているとも読め、今後の相場の放れのタイミングを注視したい。

#### <<<週足分析>>>

#### ◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観＝本格的な調整の反騰局面継続中

○遅行スパン＝陰転継続しつつもローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略＝終値がセンターラインの上方を推移しており、依然として、本格的な調整の反騰局面にあると判断。尚、目先は、レンジ相場の地合いにあり、 $+2\sigma$ ラインとセンターラインの間でのレンジ相場とも読む。また、遅行スパンが、ローソク足に接触しており、ローソク足に抑えられる格好で反落するシナリオ、つまりは、ドル反落のシナリオを念頭においておきたい場面もある。

## ■ユーロドル

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観＝レンジ相場

○遅行スパン＝陰転しつつもローソクに絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略＝目先、 $+2\sigma$ ラインと $-1\sigma$ ラインの間をコアとするレンジ相場と判断。尚、遅行スパンとローソク足との同期性に注目したい場面。すなわち、上昇傾向にあるローソク足に歩調を合わせて、遅行スパンが上昇するシナリオを念頭においておきたい場面。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観＝本格下落トレンド継続中

○遅行スパン＝陰転継続しており、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が $-1\sigma$ ラインの下方を推移するかぎり、本格下落トレンドと判断。尚、

週足スパンモデルにて、逆行パターンのユーロ買いサインが点灯している点、注目したい。

## ■ユーロ円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン=ローソクに絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、+2 $\sigma$ ラインと-1 $\sigma$ ラインの間でのレンジ相場と判断。尚、遅行スパンとローソク足との同期性に引き続き注目したい場面。すなわち、ローソク足の上昇に呼応して、遅行スパンが上昇しやすい局面にあると読む。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観=緩やかな下落トレンド

○遅行スパン=陰転継続しており、基調として、売り優勢

○トレンド判断と戦略=終値がセンターラインの下方を推移するかぎり、緩やかな下落トレンドと判断。尚、バンド幅が収束傾向となっており、レンジ相場の地合いを強めていると読む。

## ■豪ドル円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン=陰転しつつもローソクに絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、+1 $\sigma$ ラインと-1 $\sigma$ ラインの間をコアとするレンジ相場と判断。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観=調整の反騰局面、緩やかな下落トレンド、レンジ相場

○遅行スパン=陰転継続しており、基調としては、売り優勢

○トレンド判断と戦略=終値が-1 $\sigma$ ラインの上方を推移するかぎり、調整の反騰局面と判断。一方、終値がセンターラインの下方を推移するかぎり、緩やかな下落トレンドとも読む。尚、目先、バンド幅が収束傾向となっており、レンジ相場の地合いを強めているとも読む。

■ポンド円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観=上昇バイアスを伴ったレンジ相場

○遅行スパン=ローソクに絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、+2 $\sigma$ ラインと-2 $\sigma$ ラインの間でのレンジ相場と判断。尚、遅行スパンとローソク足との同期性にも注目したい場面。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン=陰転継続しており、基調として、売り優勢

○トレンド判断と戦略=目先、センターラインと-2σラインの間での、レンジ相場と判断。

■「マーフィー無料FX講座」のお知らせ

<http://www.span-model.com/ji/>

短期間でエッセンスを学べる無料コースとなっておりますので、ぜひお試しください。

■「無料メルマガ」のお知らせ

<http://www.span-model.com/mailmaga.html>

相場と友達になる手法を無料レポートで公開中です。

以上です。